

総合的な学習の時間 「福祉体験学習」

横浜市立矢向中学校



単元（題材）目標

○福祉ボランティアの基礎・基本を学ぶ。

- ・講師の方々の思いや活動の実際についての話を聞くことで、ボランティア活動の内容や心情について学ぶ。
- ・体験活動を通して、ボランティア活動ごとの基本的活動やそれぞれの意味を学ぶ。

（１）実施時期

令和元年12月3日（火）

（２）対象（学年等・人数）

第1学年 263名（内80名が「手話プログラム」を受講）



（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：1名（福祉体験学習「手話プログラム」担当）

外部講師：手話サービス連絡会3名、社会福祉協議会職員2名

（４）実施内容

①「手話プログラム」を含む6つのコースについて、実演を交えつつ学年生徒全体に紹介

②学年全体に「手話を楽しく学ぼう！」配布

③手話体験（「手話プログラム」受講者80名）

- ・当事者講師1名（聴覚障がいの方）、手話通訳2名
- ・聴覚障がい者の日常についての講話
- ・自分の名前を手話で表す（事前の宿題）
- ・簡単な会話
- ・指文字による50音の表し方
- ・手話での話しかけ方
- ・手話に関する基本的知識
- ・手話における拍手の仕方
- ・教科や部活動の表現

④振り返りレポート

自分が体験した学習について、未体験の人にも伝わるようにまとめる

（５）成果

○よりよい社会にしていけるために自分は何ができるかという視点で、生徒一人ひとりに意識の変化があった。

○「困っている人に声を掛ける勇気を持ちたい」、「障がいの有無に関わらず、みんなが平等に楽しく暮らせる社会にしたい」などの声があった。